

NO. 452
平成14年(2002)
3/1(金)



小笠原 —OGASAWARA—

村民だより

編集・発行 小笠原村総務課

〒100-2101

東京都小笠原村父島字西町

TEL04998(2)3111

FAX04998(2)3222

住民基本台帳登録者数 (2/1)
2403人
父島 母島
人口 1950人 453人
世帯 1087 247
短期滞在者 34人 69人

1月気象状況(父島)
最高気温 22.9℃
最低気温 12.5℃
平均気温 18.5℃
平均湿度 69%
月降水量 49.0mm

ダム貯水量
2/25現在
父島 89.3/100
母島 73/100

ホームページアドレス

<http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp>

小笠原の花・木・鳥・魚

花 ムニンヒメツバキ 鳥 ハハジマメグロ
木 タコノキ 魚 アオムロ

平成14年4月から国民年金の手続きが変わります!

地方分権推進一括法の施行に伴い、国民年金の手続きの一部が下記のように変更されます。

国民年金保険料の取扱いが村から国が変わります

1 国民年金保険料は、平成14年4月から国に直接納めていただくこととなります。

現在、国民年金保険料は村役場からお送りした納付書により納めていただいておりますが、平成14年4月分の保険料からは、国(社会保険庁)から送られる納付書により納めていただくこととなります。

保険料を納める場所は、全国の銀行・郵便局・農協・信用組合・信用金庫・労働金庫・社会保険事務所となります。また、口座引き落としも利用でき便利です。希望される方は、村民課住民係または母島支所庶務係までお問合せください。

※ 村役場の窓口では納めることができなくなりますのでご注意ください。

2 平成13年度分(平成13年4月から平成14年3月)の保険料は、今までどおり村役場発行の納付書により4月30日までに、村役場の窓口で納めてください。

※ 平成14年5月1日以降は、村役場発行の納付書は使用できなくなります。

学生納付特例制度の対象範囲が拡大されます

平成14年4月から、これまで学生納付特例制度の対象外とされていた夜間部、定時制課程及び通信制課程の学生も、学生納付特例の対象となります。

第3号被保険者の届出方法が変わります

1 第3号被保険者の届出は事業主経由に変わります。

国民年金の第3号被保険者(厚生年金保険、共済組合の加入者に扶養される妻または夫)の届出は、これまでは本人が区市町村に届出していましたが、平成14年4月からは、健康保険の被扶養者の届出と一緒に、配偶者の勤務している会社または共済組合を通じて届け出ていただくこととなります。

2 老齢基礎年金等の裁定請求書の提出先が変わります。

下記のような方は、これまでは村役場で手続きができましたが、平成14年4月からは、社会保険事務所での手続きとなります。

- 第3号被保険者期間のある方が、老齢基礎年金を請求するとき
- 老齢基礎年金の受給者が亡くなったとき(昭和61年4月以降に受給するようになった人が対象)

国民年金保険料の免除制度が変わります

所得が少ないなど、保険料納付が困難な方のためには、保険料の免除制度がありますが、従来の「全額免除」に加えて、平成14年4月から新たに「半額免除」がスタートします。所得が一定以下の方が、申請により定額保険料の半額を免除される制度です。

村民課住民係 Tel 2-3113

交通災害共済 「ちよこつと共済」

交通災害共済が愛称もついて新しくなりました。

交通災害共済「ちよこつと共済」は、都内の全市町村が共同で運営し、住民の皆様が会費を出し合い、交通事故にあつた時見舞金を受けられる助け合いの制度です。

手続きは簡単、また選べる2コース制になりました。

- 【Aコース】
年額1,000円で最高300万円の見舞金
- 【Bコース】
年額500円で最高150万円の見舞金

小笠原村に住民登録、外国人登録をしている方ならどなたでも加入できます。3月1日から加入の受付を行います。パンフレット・加入申込書は、各ご家庭に配布します。

村民課住民係 Tel 2-3113



固定資産税課税台帳の縦覧

固定資産税の対象となる固定資産のうち土地及び家屋については、総務大臣の定める固定資産評価基準により、村が固定資産の価格を決定し、この価格に基づいて課税されます。

固定資産税の納税義務者は、この価格を知るために地方税法の規定により課税台帳の縦覧をすることが出来ます。

【縦覧期間及び時間】

3月1日(金)～4月30日(火)
土・日曜日・祝日を除く
午前8時～午後5時30分
正午～午後1時30分を除く

【縦覧場所】

総務課税務係及び母島支所庶務係

**金属類と有害物・危険物の
ごみステーション収集が始まります(母島)**

母島で、これまで拠点収集としていた金属類と有害物・危険物を、今月から各ごみステーションで収集します。

I 金属類

【収集日】 毎週火曜日(午前8時までに出してください)
3月5日(火)から開始

【回収するもの】

- なべ、やかん、調理道具
- 缶詰の缶
- クッキーの缶等飲料缶以外の缶
- スプレー缶(必ず穴をあける)
- 一斗缶
- 金属製のキャップ
- アルミホイール

など

【出し方】

- ・緑色のコンテナに袋から出して入れてください。
- ・金属以外(木製の取手プラスチックのカバー等)はできるだけ分別してください。なお、分別する際やスプレー缶に穴をあけるときは、怪我をしないように十分注意してください。
- ・缶詰の缶等汚れているものは、軽く洗って出してください。
- ・コンテナに入りきらない金属類は母島支所にご相談ください。

II 有害物・危険物

【収集日】 毎月第1木曜日(午前8時までに出してください)
3月7日(木)から開始

【回収するもの】

- 乾電池
- 電球、蛍光灯
- 温度計、体温計
- 刃物類(包丁やナイフ)

など

【出し方】

- ・赤色のコンテナに袋から出して入れてください。
- ・刃物等危険物は、紙に包んで出してください。
- ・蛍光灯は、新しい蛍光灯のケースに入れて出してください。

分別がされていない混合ごみは回収しません。皆様のご理解、ご協力をお願いします。不明な点はお問合せください。

●問合せ先 母島支所 Tel 3-2111

【縦覧できる方】

村内に固定資産を所有している本人、またはその関係者(所有者と同一世帯の親族、納税管理人)

縦覧を希望される方は、印鑑を持参のうえ、上記縦覧場所にて申請をしてください。また、申請者が代理人等の場合は、委任状が必要となります。

平成14年度固定資産税の納期

《第1期》平成14年4月1日～30日
《第2期》平成14年7月1日～31日
《第3期》平成14年12月2日～25日
《第4期》平成15年2月3日～28日

総務課 税務係 Tel 2-3111

軽自動車等の届出など

1 軽自動車等(原動機付自転車・小型特殊自動車・二輪の小型自動車・軽自動車)の所有者は、下記の場合届出が必要です。

【車両を人に譲った時】
名義の変更の届出

【車両を廃棄等した時】
廃棄の届出(標識の返納)

【車両の定置場変更等の異動があった時】
定置場等の変更手続きなど

このような異動があった場合、必要な届出をされないと、島外搬出等により廃棄済みの車両や人に譲った車両の軽自動車税が課税されることがあります。

また、車両の紛失や盗難があった場合でも、その申告をされないと、所有者として登録されたままとなり軽自動車税が課税されます。

2 軽自動車税は、その年の4月1日(賦課期日)現在の軽自動車等の主たる定置場の区市町村で、その車両の所有者に課税されます。

※ 軽自動車税には、自動車税(普通自動車・三輪以上の小型自動車)のような月割課税の制度はありません。その年の4月1日現在の軽自動車等の所有者に、年額が課税されます。

●問合せ先

軽自動車等に係る税金に関する問合せ先
総務課 税務係 Tel 2-3111
軽自動車等の届出は、車両の種類ごとに左表でご確認のうえ、お問合せください。

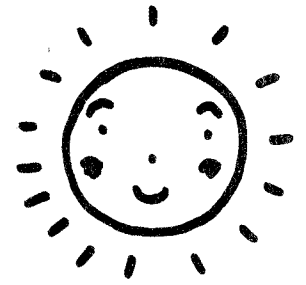
車種	種別	問い合わせ先
原動機付自転車	50cc以下(一種)	小笠原村役場総務課税務係 Tel.04998-2-3111 (転出した場合には、転出先の区・市役所、町・村役場の軽自動車税の担当係)
	50cc超 90cc以下(二種・乙) 90cc超 125cc以下(二種・甲) ミニカー	
小型特殊自動車	農耕作業用小型特殊 特殊作業用小型特殊	関東運輸局東京陸運支局 (品川区東大井1-12-17) Tel.03-3458-9235
二輪の小型自動車	250ccを超えるもの	
軽自動車	二輪車 (125cc超 250cc以下)	軽自動車検査協会東京主管 事務所(港区港南3-3-7) Tel.03-3472-1561
	三輪車(660cc以下) 四輪車(660cc以下)	

ウイズ (地域福祉センター) の太陽光発電システム (10 kW) 発電状況【まとめ】

昨年の4月に設置してからこれまで順調に発電を続けている太陽光発電システムですが、今月の発電量の予想も含めると年間で11,540 kWh程度の電力を発電することとなりそうです。これを一般住宅の屋根にのる程度の3 kWのシステムに置き換えると年間で3,462 kWhとなり一般家庭の平均電力消費量を上回る数字となります。またCO2削減量は約1万kgで、およそビール瓶大瓶の5,500本分の原油を削減したことに相当します。夏場の温度上昇期には多少出力低下の影響があったと考えられますが、日射条件の優れた小笠原での太陽電池設置は他の新エネルギーと比べても効果が高いと言えます。

なお、年間でどれくらいの電気代を削減できたかという点、昨年度と今年度では電気の使用量が異なるため単純な比較は難しいのですが、年間で40万円程度で、福祉センター全体の電気代の約10%の節約効果があったと考えられます。

「村民だより」への掲載は今月をもって終了させていただきますが、運転データの計測は今後も続けていきますので、発電状況や太陽光発電システム等についてのお問合せは企画財政課企画係 (Tel 2-3112) までお願いします。



村営バスダイヤの変更

扇浦線の増便

午前7時45分から午後3時25分までの間平日ダイヤの他に左記のとおり臨時便を運行します。あらかじめご了承ください。

【日程】

3月11日(月)・12日(火)・14日(木)
15日(金)・28日(木)・29日(金)

4月4日(木)・5日(金)

【臨時ダイヤ】

《村役場前発》

《小港海岸発》

午前7時45分	午前8時5分
8時45分	9時5分
9時45分	10時5分
11時45分	12時5分
12時45分	午後1時5分
午後1時45分	2時5分
2時45分	3時5分

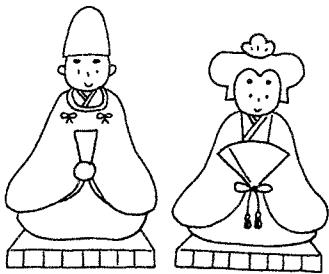
4月以降の土曜日の運行

4月1日より、小中学校及び高校の完全週休2日制施行に伴い、扇浦線・大村・奥村循環線ともに、土曜日は、年間を通して休日ダイヤでの運行とします。

運行時刻表をご確認のうえ、ご利用ください。

●問合せ先

村営バス営業所 Tel 2-3988
企画財政課 Tel 2-3112



第30回ロードレース大会結果

1月27日(日)に実施されたロードレース大会の各部門の結果は左記のとおりです。

【一般の部・6 km】

- 第1位 秋田 洋成 21分55秒
- 第2位 和田 勉之 22分13秒
- 第3位 佐々木正次 22分38秒

【一般の部・4 km】

- 第1位 峯 久常 14分31秒
- 第2位 森越 哲也 14分36秒
- 第3位 松村 浩二 15分34分

【特別の部・4 km】

- 第1位 橋口 光義 15分29秒
- 第2位 佐藤 和男 未計測
- 第3位 杵島 博 19分39秒

【女子の部・4 km】

- 第1位 山上和香菜 19分52秒
- 第2位 中島百合子 20分07秒
- 第3位 石川由里子 20分36秒

【小学生高学年 男子の部・4 km】

- 第1位 瀬掘 理生 17分59秒
- 第2位 佐藤 健一 18分49秒
- 第3位 猪村 元 19分06秒

【小学生高学年 女子の部・4 km】

- 第1位 伊藤 空美 19分38秒
- 第2位 富岡 ゆま 19分54秒
- 第3位 北條 美和 20分14秒

【小学生低学年 男子の部・2 km】

- 第1位 永合 耀 9分28秒
- 第2位 坂本 竜一 9分29秒
- 第3位 矢部 真太 9分31秒

【小学生低学年 女子の部・2 km】

- 第1位 繁藝 萌夏 10分05秒
- 第2位 牧山 涼 10分12秒
- 第3位 矢部 真子 10分18秒

【団体の部 男子・6 km×5名】

- 第1位 海上自衛隊 2時間05分08秒
- 第2位 小笠原村役場 2時間06分34秒
- 第3位 小笠原中学校 2時間14分11秒

- 【団体の部 女子・4 km×5名】
- 第1位 小笠原中学校 未計測
- 第2位 小笠原高等学校 未計測
- 第3位 小笠原小学校 未計測

今大会は強風による悪条件の中でしたが、大きな事故もなく、出場されたランナーの皆様は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、各部門において熱戦が繰り広げられました。最後になりましたが、大会の運営にご協力頂きました各関係機関及び諸団体の皆様、この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

お詫び

第一部(4 km)においてタイムが計測できなかった方へお詫び申し上げます。大変迷惑をお掛けしました。現在、資料を収集して調査しています。

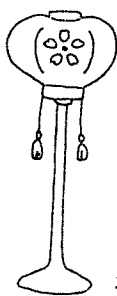
教育委員会 Tel 2-3117

村長出張報告

- 【出張期間】1月23日～2月1日
- ・職員採用試験
- ・各種調査打合せ
- ・年始挨拶(国・都ほか)

【出張期間】2月10日～26日

- ・都町村会定期総会
- ・都町村会80周年式典
- ・島嶼町村会定期総会
- ・島嶼町村会一部事務組合定例会
- ・七島学生寮理事会
- ・急患搬送感謝状贈呈(海上自衛隊厚木基地)
- ・TSL打合せ



など

けんこう通信

健康福祉課 第 4 4 号

女性の悩みと病気

【更年期①】

更年期って何？

40歳代後半から50歳代の女性が体の不調を感じるとき、よく「私もそろそろ更年期かしら…？」とか「それって更年期のせいよ！」という会話をしていませんか？

肩がこったら更年期、関節が痛ければ更年期、動悸がすれば更年期、めまいがすれば更年期。どこまで続くか更年期。

ところで、「更年期」っていったい何なのでしょう？一言でいってしまえば、卵巣の働きが下り坂になる時期のことです。医学的には、閉経（生理が1年以上ない状態）を中心とした5年から10年間のことをいいます。平均的な閉経年齢は約50歳ですから、更年期は40歳代後半から50歳代前半ということになります。

ところが、つわりと同じようにこの時期すべての人に更年期障害があらわれるわけではありません。はっきりした統計はありませんが、更年期障害を自覚する人は10人中2～3人という説もあります。

ホルモンのバランスが乱れて

まず、卵巣の働きについて少し説明しましょう。

卵巣には、おもに二つの働きがあります。それは、①卵子をつくることと、②ホルモンを出すことです。

この二つの働きは更年期を境に急激に衰えます。このうち更年期の症状と関係があるのは、卵巣ホルモン（エストロゲン）と呼ばれるものです。エストロゲンの分泌量は20～30歳代をピークに減り続け、50歳にはピーク時の5分の1程度になります。エストロゲンが減ると、体内のホルモンバランスが崩れ、さまざまな体の不調が現れるのです。しかし、ホルモンのバランスに慣れてくれば、次第に症状も軽くなっていきます。

早くからの心構えが大切！

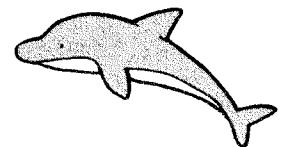
卵巣は30代半ばから老化し始めるので、中には30代半ばや40代前半から不快な症状が現れてくる人もいます。

また、20代の女性の中に、極端なダイエットが原因で無月経になり、卵巣の機能が低下するために更年期症状が出てくる人が増えてきています。更年期は50代になってから考えればいいというのではなく、早いうちからの心構えが必要です。

※ 来月は更年期の症状についてのお話です。

更年期は、生活の質を見直して老後を健康に過ごす為に与えられた準備期間だと言います。更年期を「年が更（ふ）ける時期」ととらえていた人は大間違いで、これは「年が更（あら）たまる時期」という意味なのです。もとは、ギリシャ語の「はしご」を意味する言葉からきているようです。人生という木に、はしごをかける。てっぺんまで登る時は元気よく登っても良いけれど、下りる時は十分注意してくださいという意味。これまでの生活を省みて一歩一歩確かめながら安全に下りていく。そういう気持ちを持って、この時期を乗り切れれば、少し楽になるのではないのでしょうか。

イルカの伝言板



乳幼児・歯科健診

対象者の方には、個別に通知します。6歳未満の乳幼児で健診を希望される方は、事前に電話で予約してください。

【対象者】 3・4ヶ月、6ヶ月、9ヶ月、1歳6ヶ月、3歳の乳幼児

【父島】

《日時》 3月14日(木) 午後2～4時

《場所》 地域福祉センター(ウイズ)2階

【母島】

《日時》 3月18日(月) 午後2～3時

《場所》 母島診療所2階

● 問合せ先

健康福祉課 健康福祉係

父島 Tel 2-3939
母島 Tel 3-7033

育児学級(父島)

左記の日程で育児学級を開催しますので、お気軽にご参加ください。対象者の方には、個別に通知します。

【内容】

ママと赤ちゃんのふれあいマッサージ

『タッチケア』

【対象者】

3～6カ月前後のお子様及び保護者の方

【日時】

3月27日(水) 午前10時～11時30分

【場所】 地域福祉センター(ウイズ)2階

● 問合せ先 健康福祉課 健康福祉係 Tel 2-3939

健康保健の窓口

精神保健福祉の医療に関する取り扱い窓口が変わります

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」の改正等に伴い、平成14年4月1日から、精神保健福祉に関する取り扱い窓口が一部島しょ保健所から小笠原村に変わります。

なお、精神保健福祉の医療に関する相談等については、引き続き島しょ保健所で実施しています。

【取り扱い窓口が変更になる事項】

- ① 精神障害者保健福祉手帳の申請及び交付
- ② 精神障害者医療費公費負担の申請
- ③ 東京都小児精神障害者入院医療費助成の申請
- ④ 精神障害者都営交通乗車証の申請及び発行
- ⑤ 精神障害者社会復帰施設、居宅生活支援事業、社会適応訓練事業の利用に関する相談助言及び斡旋調整

●問合せ先 小笠原村 健康福祉課 健康福祉係 Tel 2-3939 / 島しょ保健所 小笠原出張所 Tel 2-2951
東京都衛生局 精神保健福祉課 Tel 03-5320-4461

宴會のしるし

母島フェスティバル開催

毎年恒例となりました、母島フェスティバルが今回も開催されます。母島の各産業団体（農・漁・商・観）が連携して盛りだくさんの島内物産を皆様にお届けします。特産品の展示・即売をはじめ、試飲・試食コーナーや楽しいイベントも用意しておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。

【日時】 3月23日(土)
午前10時～午後1時

【場所】 母島漁協水産物販売センター周辺

母島フェスティバル実行委員会

Tel 3-2111

母島巡回労働相談

小笠原総合事務所が実施する3月の「母島巡回労働相談」の日時等は次のとおりです。当日、都合が悪く来館できないという方は、電話による相談も可能です。

【日時】 3月19日(火) 午後5時～6時

【場所】 母島村民会館2階和室

【相談内容】 労働時間、安全衛生、賃金

解雇等

求人求職 (求人・求職申し込み等)

労災保険 (加入、労災給付等)

雇用保険 (加入、失業給付等)

●問合せ先

小笠原総合事務所 Tel 2-2102

テレビ地上波放送中断

太陽雑音の電波妨害現象により、左記の間、放送が中断することがあります。あらかじめご了承ください。

【予想日】 3月8日(金)～11日(月)

【予想時刻】 昼12時44分頃から約6分間

【太陽雑音による電波妨害】

太陽、放送衛星、受信地が一直線に並んだときに、衛星からの電波とともに強力な太陽雑音を受けるために起こる現象です。春分の日及び秋分の日前後に発生します。

脱退手続きのお願い

転勤等で小笠原村から転出する組合員の方は、脱退の手続きを忘れずにしてください。

【受付場所】

小笠原村テレビ視聴管理組合(村役場第2庁舎) 及び母島支所

●問合せ先

小笠原村テレビ視聴管理組合

Tel 2-3510

小笠原広帯域地震観測点見学会

清瀬弾薬庫跡に広帯域地震観測施設を設置し、常時観測を開始します。以後施設内には入れなくなりますので、事前に見学会を行います。皆様のご参加をお待ちしています。

【日時】 3月5日(火)
午前9時30分～11時30分

【場所】 清瀬第一弾薬庫跡(診療所裏)

【説明員】 防災科学技術研究所

井上統括主任研究官

【説明内容】 設置機器の目的と今後の研究

●問合せ先

独立行政法人 防災科学技術研究所

Tel 0298-63-2291

交通安全講習会の希望受付

平成14年春の全国交通安全運動が4月6日(土)～15日(月)までの10日間実施されます。

小笠原警察署、小笠原交通安全協会では、交通事故防止を図るため、地域、職場、自治会単位での出張交通安全講習会を呼びかけています。小笠原警察署内では、本年2月18日現在、交通事故3件(重傷1件)が発生していますので、ご希望の地域、職場等がありましたらご連絡をお願いします。

1 講習日の時間帯は、希望する日の時間帯で結構です。(ただし1日1ヶ所とし、おむね1時間位としています。)

2 少人数でも可

3 講習日が重複した場合は、警察署で調整します。

●問合せ先

小笠原警察署 交通係

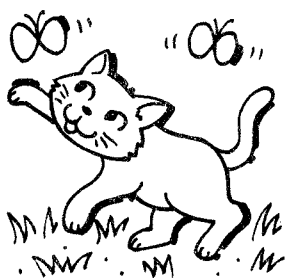
Tel 2-2010 (内線4112)

小笠原高校図書館から

高校図書館に新しい図書が入りました。皆様のご来館をお待ちしております。

●問合せ先

小笠原高校 竹村 Tel 2-2346



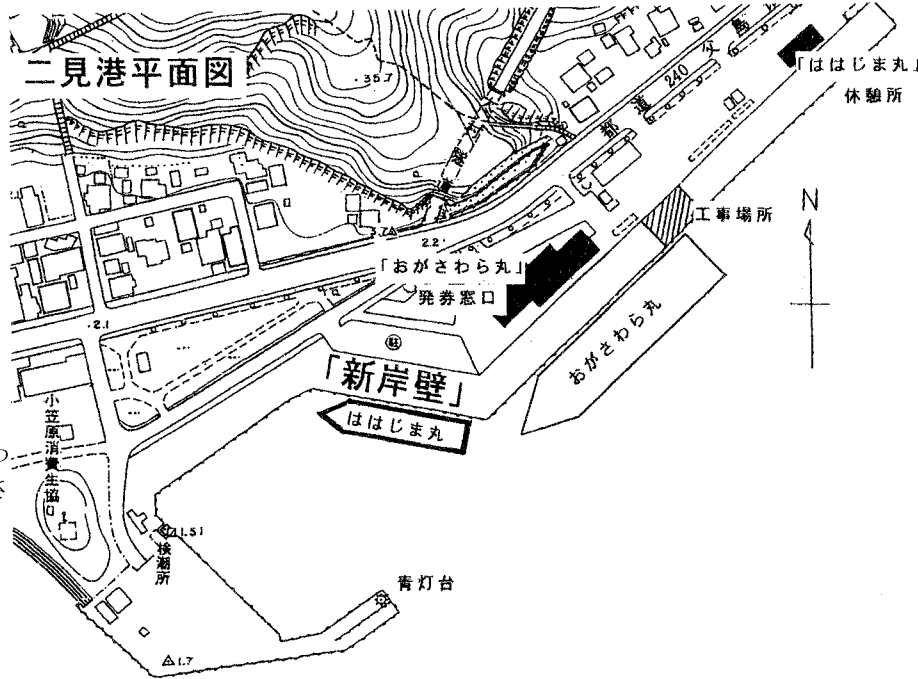
二見棧橋改修工事及び「ははじま丸」発着場所変更のお知らせ

二見棧橋改修工事

二見棧橋の改修工事を昨年度に引き続き今年度も行います。皆様のご協力をお願いします。

【工事期間】 2月25日～3月末日

【工事場所】 二見港平面図(左図)参照



「ははじま丸」発着場所及び乗船券発売場所の変更

上記工事に伴い、「ははじま丸」の発着場所が下記の便のみ新岸壁(左図参照)に変わります。また、乗船券の発売場所も「おがさわら丸」発券窓口になります。

下記の便以外は通常どおり「ははじま丸」休憩所となりますので、お間違えのないようご注意ください。

【「ははじま丸」発着場所変更日時】

おがさわら丸入港日		おがさわら丸出港日	
2月26日(火)		3月1日(金)	
3月4日(月)	父島発	7日(木)	父島着
10日(日)	12時30分	13日(水)	12時30分
16日(土)		19日(火)	

●二見棧橋改修工事に関する問合せ先 小笠原支庁 港湾課 工事第一係 Tel.2-2015

●「ははじま丸」発着場所及び乗船券販売場所に関する問合せ先 伊豆諸島開発(株)父島代理店 Tel.2-2111

小笠原ビクターセンター催し物

小笠原ビクターセンターでは、左記のとおり催し物を開催します。皆様のお越しをお待ちしております。

①特別企画展

「小笠原をアホウドリの島に」

【期間】開催中～3月8日

【場所】小笠原ビクターセンター小会議室

※ 入場無料

②自然教室

「採って、食べて、学ぼう!小笠原の海藻」

【日時】3月2日(土)午後1時～4時

【集合場所】

午後1時小笠原ビクターセンター集合

【定員】先着15名(高校生以上)

※ 左記までお申し込みください。

【参加費】150円(保険代)

【持ち物】ざる、箸、ビニール袋

③星空観望会

「小笠原の夜空を眺めよう!」

【日時】3月2日(土)・9日(土)

午後7時～9時

【場所】都立大神山公園お祭り広場

※ 定員無し、参加費無料、予約不要

④自然体感ツアー

「小笠原 自然と文化の散歩道」

(PART2)

【日時】

3月21日(木)午前9時～午後1時

【集合場所】

午前9時小笠原ビクターセンター集合

【定員】先着20名(中学生以上)

※ 左記までお申し込みください。

【参加費】100円(保険代)

【持ち物】飲み物、弁当、筆記用具

●申し込み及び問合せ先

小笠原支庁 土木課 自然公園係

Tel.2-2123

オガサワラオオコウモリの

生息調査実施とお願い

【生息調査】

東京都小笠原支庁では、オガサワラオオコウモリの生息状況について、NPO法人小笠原自然文化研究所に依頼して調査を行います。調査期間は平成14年3月末日までの予定です。

【観察の時のお願い】

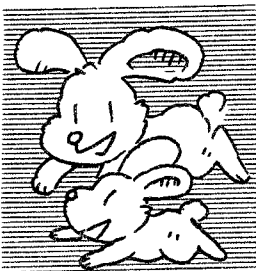
近年、オガサワラオオコウモリの観察者が増えてきましたが、特に冬季の集団化は、オガサワラオオコウモリにとって大切な意味がありますので、静かに見守る必要があります。

オガサワラオオコウモリと共生していく環境を作るために、左記の点に注意をして観察するように、ご理解とご協力をお願いします。

- ・ 昼間は休息地にいますが、この休息地には立ち入らないようにしましょう。
- ・ 夜間の観察の際は、少人数で静かに行き、懐中電灯の数を出来るだけ少なくしましょう。

・ オガサワラオオコウモリがいる場所は私有地である場合があります。私有地の観察はやめましょう。

●オガサワラオオコウモリに関する問合せ先
小笠原支庁 土木課 Tel.2-2123
NPO法人 小笠原自然文化研究所
Tel.2-3779



創造性教室

小笠原(15) キャンパス参加者募集

坂部創造性教室(本部・愛知県大山市)の「小笠原(15) キャンパス」を開校します。内地の子どもたちとの「友情のふれあい」を願う「小笠原っ子」の参加を期待します。参加経験のある子も初めての子も大歓迎。ふるってご参加ください。

【開校目的】

事実から学ぶ目をやしない、こころの通い合う友情を育てる

【日程】

3月28日(木)～31日(日) 3泊4日

【場所】 扇浦交流センター

【募集人員】 約20名(先着順)

【募集対象】

小学3年生～中学生

今までに参加経験がある高校生はスタッフ参加ができます。

【研究】

歩行ラリー、自由研究、フィールドワーク、かるた大会などをチーム単位で取り組みます。

【生活】

食事は、チーム単位で自炊します。寝袋または毛布を持参してください。保護者へのお願い

【保護者へのお願い】

今年も扇浦交流センターを会場とするため、資材の運搬に人手が必要となります。創造性教室の先発隊のメンバーの指示で、保護者の方々のご協力をお願いします。

【参加費】 1万円

【申込方法】

相原(Ⅱ2-2705)、佐々木(Ⅱ2-2748)のところに「申込書」にて、参加費を添えてお申し込みください。

※ 参加経験のある方は、案内が近日中に届きますので、その中の「申込書」を使用してください。

おがさわら丸

島民往復割引乗船券の購入について

島民往復割引乗船券は、村民の皆様が上京する際、復路(東京→父島)が割引になる乗船券です。この乗船券を乗船前に購入される方が多いため、父島出帆30分前より窓口が大変混雑します。島民往復割引乗船券は復券を同時に発行する関係上、通常の乗船券にくらべ発行に時間がかかります。乗船券を購入される際は、乗船直前を避け、なるべく事前に購入されるようお願い申し上げます。出帆1時間前までは窓口が比較的空いていますので、少ない待ち時間で乗船手続きも同時に済みます。混雑緩和のため、村民の皆様のご協力をお願いします。

●問合せ先

小笠原海運株式会社 父島営業所

Ⅱ2-2111

小笠原ホエールウォッチング

協会(OWA)のコーナー

ザトウクジラを観る機会がますます増えてきています。昨年の同時期と比べると、今年クジラの出現頻度が高い傾向がでています。母島周辺では2月はじめから、父島周辺でも2月8日には今シーズン生まれの子クジラが観察されています。

エコツアーリズムのすすめ パート10

「小笠原のエコツアーリズム

研究者の役割」

先月号で掲載されていた村民アンケートの結果を見ると、村民の実に70%近くが「観光」「環境」に関心があり、さらに一番重要

な施策として「研究機関の誘致」が高い関心を集めています。小笠原のエコツアーリズムを発展させていくためには、研究者、村民、行政、観光業者、観光客の5つの主体の参加が不可欠です。その中でも研究者は最も重要な存在です。なぜなら、小笠原のエコツアーリズムは自然の「価値」を持続的に利用して地域振興を図ることを目的にしていますが、研究者はその「価値」を見出して、持続的な利用方法を科学的に提言できるからです。「価値」を見出さなければ、小笠原の自然の魅力を認識することはできないのです。

小笠原のエコツアーリズムを発展させていくためには今後、保護地区の指定、観光容量の設定、動植物保全のための施策、インタープリター養成、自然と調和した街作り、環境復元、入島・環境税等の導入が必要になると考えられますが、これらエコツアーリズムに係るすべての根拠を見出せるのは研究者なのです。また、小笠原には7つの研究機関(都立大学・水産センター・亜熱帯農業センター・海洋センター・OWA・小笠原自然文化研究所・小笠原野生生物研究会)があります。そこで働く多くの地元研究者は継続的に小笠原の自然を観察し、その「価値」を発掘しています。内地と地元との研究者が発掘した自然の「価値」をよりエコツアーリズムに反映させるシステム作りをすれば、観光地としての小笠原の価値を一層高めることができるでしょう。

第3回インタープリター養成講座

(勉強会) 開催

【講習内容】

「ハシナガイルカの生態学(日周行動)」

講師：森恭一(OWA)

「ホエールウォッチング屋さんの救急箱」

講師：金本由美(看護婦)

【日時】

3月20日

《昼の部》 午後2時～4時

《夜の部》 午後7時～9時

【場所】 小笠原ビジターセンター
【受講資格】 IWOメンバー及び村民の方
【受講料】 無料
【定員】 なし

●問合せ先(予約の必要ありません)

担当 一木 Ⅱ2-3215

1月28日に母島でOWAホエールウォッチング・インタープリター(IWO)認定講習会を開催して30名の方が認定を受け、IWOの合計認定者数は116名になりました。また、1月31日(父島)、2月16日(母島)、18日(父島)にインタープリター養成講座(勉強会)を開催し、計72名の参加がありました。三日月山でザトウクジラを

探しましょう

左記の日時でOWA解説員が三日月山展望台でザトウクジラを探しています。一緒にクジラを探してみませんか?

【開催期間】

2月1日から5月の連休までの左記の時間帯

《入港日》

午後2時30分～5時(午後4時から森博士によるクジラの陸上観察会を開催します)

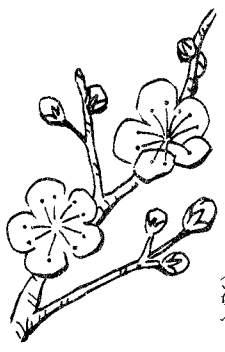
《出港日》

午前8時から10時、午後2時30分～午後4時

《出港日》

午前8時～10時

※ OWAでは双眼鏡のレンタルもしています(300円、OWA会員は無料)。(次ページ)



4月のカレンダー

日付	曜日	行事予定	日付	曜日	行事予定
1	金	出港日 固定資産税課税台帳の 縦覧開始（～4/30） 母島保育園入園児募集期限 交通災害共済加入受付開始	15	金	贈与税及び所得の申告期限
2	土	小笠原ビズターセンター-自然教室・ 星空観望会 高校図書館開放	16	土	入港日 高校図書館開放
3	日		17	日	
4	月	入港日	18	月	乳幼児・歯科健診（母島）
5	火	金属類ごみステーション 収集開始（母島） 予防接種（パルクリン反応/父島） 小笠原広帯域地震観測点見学会	19	火	出港日 母島巡回労働相談
6	水	高校図書館開放	20	水	小笠原中学校・ 母島小中学校卒業式 高校図書館開放 第3回インタープリタ-養成講座
7	木	出港日 有害物・危険物 ごみステーション収集開始（母島） 予防接種（BCG、三種混合、 風疹、麻疹、日本脳炎/父島） 母島小中学校 太鼓・吹奏楽発表会 「ちびっこクラブ」 入会児募集期限	21	木	春分の日 小笠原小学校卒業式 小笠原ビズターセンター-自然体感ツアー
8	金		22	金	入港日 第1回小笠原村議会 定例会本会議3日目
9	土	小笠原ビズターセンター-星空観望会 高校図書館開放	23	土	母島小中学校修了式 母島フェスティバル
10	日	入港日	24	日	
11	月		25	月	出港日 小笠原小・中学校修了式
12	火	第1回小笠原村議会 定例会本会議1日目	26	火	
13	水	出港日 高校図書館開放	27	水	育児学級（父島）
14	木	第1回小笠原村議会 定例会本会議2日目 乳幼児・歯科健診（父島）	28	木	入港日 創造性教室（～31）
			29	金	
			30	土	
			31	日	出港日

